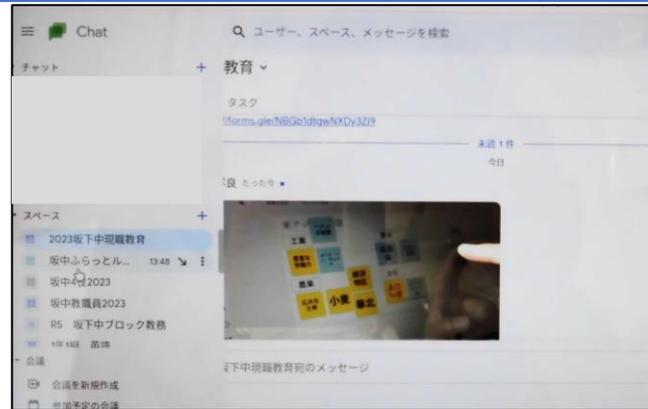
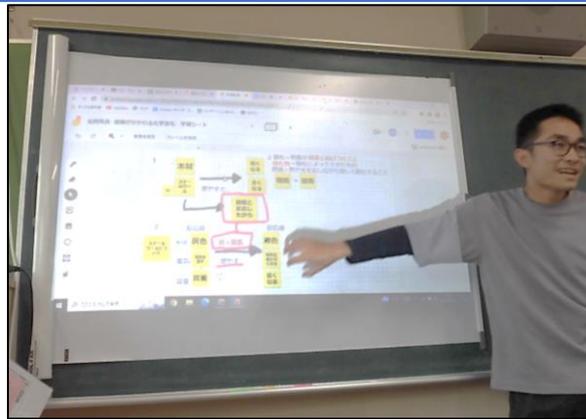
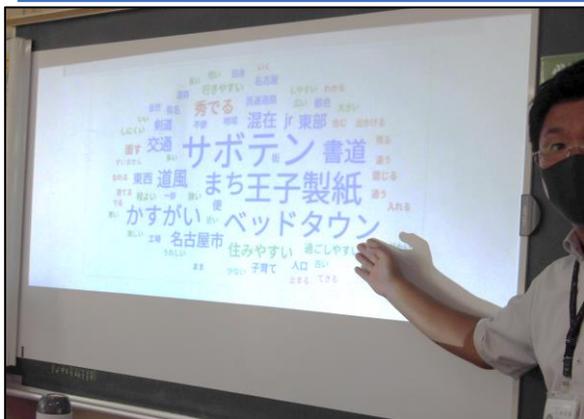


リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立坂下中学校（愛知県）【協力校】

【取組内容④】・教員がいつでも学び、授業実践に対して意見共有できるための工夫



現職教育では、教務主任が主導して行うだけでなく、公開授業をする先生を中心に、授業での効果的なアプリの使い方や授業に役立つアイテムについてレクチャーをしてもらい、全教員が活用できるようにしている。それにより、テキストマイニングやJambord、チャットなどの活用が各教科で進んだ。

ひ続けられるように、子供のよさと学び方を獲得できるようにしていきたい。その教科の指導を中心に、※総合的な学習の時間も活用しながら自分をよく見つめ、調整できるように、振り返りなどを工夫・充実していきながら、生徒が自信を付けていけるようにする。また、協働的な学びで互いのよさを出し合ったり、違う層に触れながら学び合っていけるようにしていきたい。

※<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/126.html>

総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント (nits.go.jp)

8月18日、金曜日

8月18日、10:44

本の紹介です。すでに読まれた方もいるかと思いますが、高森台や出川の校内研や研修で指導助言していただいている高橋純先生の本です。いつも先生が話されている内容がまとめられているとともに、探究への授業に進めるための考え方も書かれているので、授業づくりをする上で、拠り所になると思います。（登本先生もおススメしていました。）職員室の出退勤用PCの横に立てかけておきますので、興味がある方は手にとってみてください。

現職教育のために設定できる時間は限られているため、レジュメにこれからの研究に関わる動画や資料のサイトを掲載し、他の時間にも学ぶことができるように工夫している。

また、専用のチャットには、研修で学んだことや読んでおくとよい書籍の情報を投稿できるようにし、効率よくいつでも教員が学べる環境を整えている。